

いなみ町議会だより



(上)大歳神社祭[四つ太鼓] (下)屋台のせり合い[10月10日]

●平成22年度補正予算等 議案審議・決算審議…… P2～P4

9月定例議会

- 一般質問(5議員)…………… P5～P9
- 委員会活動報告…………… P10～P11
- グループ紹介・あとがき…………… P12



平成22年第3回定例会〔9月議会〕

平成22年第3回印南町議会定例会は、9月9日開会し17日閉会いたしました。今回の定例会の上程案件は人権擁護委員推薦1件、22年度補正予算5件、報告1件の計7件が提案され、慎重審議の上、可決しました。また、平成21年度一般会計決算及び特別会計11件についても提案され全て認定しました。

平成22年度一般会計補正予算(第2号)を可決

一般会計 2億3,812万2千円を追加

補正後の総額 50億7,885万5千円

歳入での主な補正額

歳入	補正額
地方特別交付金	628万円
地方交付税	1億3,600万円
国庫支出金	1,201万円
県支出金	1,016万円
繰越金	6,800万円

歳出での主な補正額

歳出	補正額
総務費	1億5,317万円
民生費	2,292万円
衛生費	4,834万円
農林水産費	209万円
土木費	853万円

特別会計補正予算

名	補正額	総額
印南町国民健康保険事業	1,443万1千円	12億5,864万1千円
印南町老人保健事業	11万1千円	23万1千円
印南町後期高齢者医療	264万0千円	2億2,105万5千円
印南町介護保険事業	1,250万5千円	8億1,202万1千円

●人権擁護委員(推薦同意)

・西ノ地2361番地
西山 忠雄氏

一般会計補正予算に 対するQ&A

Q

社会福祉費で、老人福祉施設のグループホームへのスプリングクラー設置費用が計上されています。グループホームを建設する時、スプリングクラーは設置されなかったのですか。

A 住民福祉課長

カルフル・ド・ルポ印南のスプリングクラー、消防法の適法ですけれども、この件につきましては、消防法の改正により平成24年3月31日までに設置する義務を負うこととなりました。

Q

保健衛生費のパパ・ママ・キッズの健康管理システム委託料とありますが、管理備品購入費の詳細はどの様になりますか。

A 健康福祉課長

パパ・ママ・キッズの健康管理システム委託料ですけれども県の補助事業を使用しまして実施します。

システム委託というのは

どういうものかと言えば、子ども中心ですが、お父さんやお母さんの各種がん検診であるとか、疾病や予防接種の情報とか、そういったものを一元的に管理できないかと、今回の補助金を利用して、住民の皆さんの健康管理をシステム化していこうということ、この委託料に係る費用です。

備品購入費の内訳は保健センターにおける授乳用の部屋、いす等であるとか、キッズスペースということで、教材機器、遊具等、あと診察用の机、保健室のベッド、フロアマット等の予定です。

Q

備品購入費ですが、かなりいろいろの機械とか、遊具がありこんなに必要かと

思われませんが。

A 健康福祉課長

一応予定していたものすべて保健センターで利用するもの、利用したいもの、これ100%県費の補助です。ですのでこの機会にそろえたいと計上しています。

Q

農業費、鳥獣害対策費の鉄砲の補助金75万円について、現在鉄砲を持っている人に対して経費の軽減策は出来ないのですか。

A 産業課長

鳥獣害対策に従事していただいている皆さんの、もつと費用負担を軽減出来ないかということですが、今後、これら全体に対して何らかの体制を考えるよう、対策協議会と協議して充実を図っていききたいと考えています。

Q

印南S.Aバス停の整備調査委託料として200万円が計上されていますが、どのような調査をするのですか。

A 産業課長

白浜、大阪間を1日に10

便の高速バスが運行されています。高速バス停留所を印南S Aエリア内に新設できないか調査するための費用です。

Q 財産管理費内の工事請負費で、旧上洞学校跡地整備事業の260万円は説明の中ではゲートボール場ということの説明されたが、また今後、各地域の幼稚園等が廃校等になった場合に地域からこのような要望があれば、随時、町として進めていくのですか。

A 総務課長 財産管理費と一言することで、今回260万円、上洞小学校跡地整備ということで計上していますが、ゲートボール場の整備が約80万円、それから土地の整備事業ということで160万円余り、合計260万円余りを計上するものです。

ゲートボール場につきましては、地域の要望、利用見込みがあつて初めて整備されるということで、今回老人福祉の県費を利用しまして3分の1の補助、25万円を充当して整備します。あくまでも上洞小学校の跡

地の整備がメインということです。

Q ゲートボール場の件について、このゲートボール場を造つた中で、他の地域からも要望が出て来た場合、今後幼稚園等の跡地について要望が出てくる可能性は大きいと思われるが、その時は行政として話を聞いて要望について検討するのですか。

A 町長 公共施設の全体の利用ということですが、当然地域の方の要望があつて、それが公共の目的に一番適しているものは何かと判断することになります。あくまで総合判断をして適用させていただきます。

Q 学校管理費の中で緊急雇用賃金として110万4千円が計上されていますが、どのような職員を配置するのですか。

A 教育課長 学習支援員緊急雇用賃金の110万4千円について

ですが、切目小学校に学習支援員として1名配置するものです。

教員の免許取得者を1名予定して、学習については個別対応が必要な児童、生徒に対応するための加配です。

Q 教員の加配について他の学校はどうなっていますか。

A 教育課長 今回の補正予算では切目小学校において、特に学習について個別対応が必要な児童について、学習支援員を加配するものです。

他の小学校につきましても、平成22年度からですが町単独の加配の教諭が配置されております。

Q 高齢者に対するインフルエンザ個別接種委託料として230万円の計上がされていますが、3月議会でも決された当初予算で768万円が計上されているにもかかわらず、今回、また補正予算に予算を計上している理由は何ですか。

A 健康福祉課長

これまで自己負担金1000円を徴収していましたが、今回から自己負担を無料としましたのでその分にかかる費用です。

Q 不法投棄ゴミの撤収費用として110万円の計上ですが、不法投棄ゴミの現状はどうですか。

A 生活環境課長 不法投棄ゴミの箇所は18ヶ所で、今回この箇所の撤収費用です。

Q この事業は県の基金である「緊急雇用創出事業」を活用しますが、この事業で雇用人数は何人となりますか。

A 生活環境課長 1ヶ所5人で10日程度を予定し、運搬作業は3人の雇用で5日程度を見込み、延べ65日を要すると試算しています。

Q 不法投棄について撤去費用、運搬費用ということですが、処理費用はどうなっ

ていますか。

これから不法投棄が増えていくと考えられます。不法投棄をなくしていく対策をどの様に考えていますか。

A 生活環境課長

緊急雇用の予算の中で、処理費用は含まれておりません。これは町で対応していかなければならないと考えております。

不法投棄の啓発ですが、住民の皆さんに対して啓発活動等行っていきたくと考えております。

Q 農林水産業費の鳥獣害対策費の90万円は、個体調査とか追い払い、駆除等をするということで計上されている訳ですが、この計上は県緊急雇用創出事業ということで対応するということですか。

事業が23年までということですのでその後どうしていくつもりですか。

A 産業課長

当然銃所持者であることが必要になりますので、猟友会と協議を行っております。

平成21年度 総額78億円についての決算認定 (一般会計51.6億円 特別会計26.5億円)

昨年度の一般会計予算がどの様に使われ成果を上げているか、
町民の代表である議会が審議し認定します。

一般会計決算に対する質疑

【質問】

町税の住宅使用料で85万8,300円の不納決算額が生じていますが、今後どの様にされますか。

【建設課長】

電話や訪問による督促を粘り強くやっています。

【質問】

国から町に対して教育費の補助金として「へき地・生徒援助費(スクールバス)」として135万円補助金がありますが、平成21年度は460万円の補助金でした。試験的な支援補助だったのか平成21年度は実績に伴う補助なのか説明していただけませんか。

【教育課長】

平成21年度の135万円は清流バスの買い替え予算の2分の1が国からの補助金です。
平成20年度は清流小・真妻路線の2台を購入するに当たり価格の2分の1が国庫補助になりました。

【質問】

来年4月、切目に福祉共同作業所が開設しますが、現在は町外の施設を利用されています。今後、切目の福祉共同作業所を利用すれば皆さんの負担金などは変化はありませんか。

【住民福祉課長】

個人の負担金などの変化はありません。

【質問】

農業費の中で防油堤推進事業として285万円を支出しています。現在何基の防油堤が設置されていますか。

【産業課長】

660基程度です。防油堤を設置されたのは平成21年度まで240基です。

【質問】

防災に関わる予算で自主防災組織支援費として120万円、自主防災組織支援補助金として43万4,124円が支出されています。この内容はどの様になりますか。

【総務課長】

自主防災組織支援費の120万円は宇杉区・自主防災組織の設立実施したもので、自主防災組織支援補助金43万4,124円田ノ垣内地区の設立に対し防災資機材等への支援補助です。

【質問】

庁舎前のフェニックス撤去業務委託料として29万4千円を支出していますが、その内容はどの様になりますか。

【総務課長】

過去に植えたフェニックスの木が巨大化し、枝が垂れ下がる状況で台風等での庁舎への影響も懸念しました。

【質問】

町所有の財産を処分して9,470万円の収入がありますが、どの財産をどの様な利用のために売却したのですか。

【総務課長】

旧真妻中学校跡地の財産の処分と印南町の西ノ平の所を民間に払い下げを行った分の不動産売り払い収入分です。

【質問】

体育センター西側駐車場の借上料に185万円、町民プール借地料として、376万8千円を支出していますが、町として今後どの様な考えを持っていますか。

【総務課長】

2つの借地の単価を比較すると“契約”で相手と合意のもとで契約を結んでいます。差が生じる事はいた仕方ない状況です。

【質問】

小学校に関わる費用で委託料として「スクールバス運行」委託料1,319万7千円を支出していますが、何処へ委託し、何社ほどの契約になっていますか。

【教育課長】

内訳は稲原小学校のスクールバス2台で、印南交通(株)365万4千円。清流小学校には、3台。この内1台は、委託業者持ちのスクールバスです。あとの2台は443万円で中紀河南タクシーです。

【質問】

町税の不納欠損(予定していた収入が入らない場合5年で時効となり不納あつかいにすること)と収入未済額(納金されるはずの税金などが未収金となっている状態)の合計が5,900万円に上っている。この主な原因は何ですか。

【税務課長】

長期の不況、営業不振等で滞納累積傾向が増加、倒産、リストラ等による失業者の増加が増え自己破産者なども増加する中で滞納の増加に拍車がかかっています。

【質問】

平成21年度の歳入総額から歳出総額の差し引きは2億1,327万4千円で翌年度に繰越す額の6,527万3千円を差し引いた金額は1億4,800万1千円です。しかし、これは平成21年度の純粋の収支額ではありません。純粋の収支額(実質単年度収支)はどの様になりますか。

【税務課長】

平成21年度の実質単年度収支は1億7,838万3千円です。



岡本 庄三 議員

町内の小中学校の 教育環境と若者ひろばの オムニコート化について (人工芝砂入りテニスコート)



印南小学校の正門

質問 印南小学校は昭和36年新築以来、外壁、屋根の防水、水洗トイレ、耐震化等の改修はされていますが、屋内は殆ど当時のままです。老朽化についてはどの様になっていきますか。

答弁 教育課長

老朽化していることは承知している、18室とローカ等を整備すると8000万円相当の費用が必要となる。教育施設の整備で安全・安心とか有利な補助金等が適用できないか財源確保を図りながら、現在より良い教育環境の整備確保に前向きに対応したいと考えております。

質問 近年の異状気象による高温により、授業に集中できない小中学校の子ども達のために、教室にエアコンの設置を考えてはいかがでしょうか。

答弁 教育長

小中8校の気温調査をした、31度から34度だった、すべての教室には扇風機が設置されている。コンピューター室や図書室にエアコンの入っているところでは、やりくりをして使うように指示をしています。

再質問 施設管理者ということで町長の見解をおきかせください。

答弁 町長

エアコンも設置するとなると相当の費用もかかるだろう。今後学校、教育委員会とも協議して前向きに検討していきたいと思っております。

質問 今後、各小中学校での生徒数は減少傾向にあると予想されます。町内4小学校4中学校の統合や小中一貫校について協議を始めるべきではないでしょうか。

答弁 教育長

各学校とも学力向上の取り組みを含め安定した運営をし一定の成果を出している。少人数部活動におきましても、スクールバスの活用や合同チームの編成等弾力的な対応をしている。小規模校のよさもあり、それぞれの地域性もある。生徒数も注視しながら、小中一貫校の議論も含めていろんな人の意見も聞きながら、今後定例教育委員会会議においても適宜協議していく。当分は「4小4中体制」を堅持したいと考えています。

質問 昨年の9月議会で質問いたしました、学童保育の取り組みについて「町内一斉は無理だが、とりあえず印南、切目で要望調査をしてから考える」との事でしたが、その後いかがでしょうか。

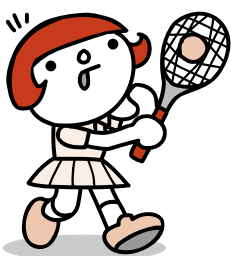
答弁 教育課長

現時点で23年度中に一ヶ所印南幼稚園舎を利用して放課後子ども教室と学童保育の印南流学童保育を開始し、子どもたちの居場所、活動の場所の確保を図って行きたいと考えています。

質問 若者広場のテニスコートでございますが、ジュニアテニスの子どもらは優秀で今年も全国大会へ出場していますし、他にも数々の成績を残しています、5年後の国体も期待の出来るものだと思います。今テニスコートの主流はオムニコート（人工芝砂入りテニスコート）でございます、是非とも整備していただき今後の活躍に期待したいのですが、いかがでしょうか。

答弁 教育課長

各種大会はオムニコートが通常であり、必要性は感じているが一面に1000万円程度入用である、そのための財源確保で（独立行政法人）日本スポーツ振興センターのトト宝くじ助成金について申請、事務調査検討します。





榎本 一平 議員

町民の健康と命を守るための猛暑対策を

教育施設の環境整備を

質問 異常気象のもと子ども達の教育環境も考えていく必要があります。

学校現場から強い要望として上がっているランチルームへのクーラー設置の計画はどのようになっていますか。

答弁 教育長

今年度は印南小へ設置した。他の小学校にも順次設置したい。一年ごとでなく同一年度で設置したいと考えています。

小・中学校の普通教室へ計画的にクーラーの設置を

質問 30年、20年前とは明らかに気象に変化が起きている。

各小、中学校の普通教室は9月に入っても30度〜40度を示し、学校現場からは「クーラーがあつたらいい」との要望が上がっている。普通教室にもクーラーを設置する時期にあるのではないですか。

答弁 町長

教育委員会と議論して必要なら取りくんできたいと思います。

鳥獣害対策と県の対応について

―和歌山県の農業対策の重大問題としての位置づけを―

質問 被害をもたらす野生動物の生息数は。また、「管理計画」は作成されていますか。

答弁 産業課長

猪、猿は行動範囲が広く県でも生息数は把握していない。シカは管理計画書に推定

生息数は3万1千頭と記載されており、これを8700頭までに減らす目的です。

質問 シカの新しい捕獲方法が普及している。ネットの3ヶ所ほどに入口を作り、そこにセンサーを設置し、電波でパソコンに情報を送る方法が普及しています。購入費用は90万〜100万円ほどです。町で数基購入しシカ被害の多い地域に貸し出しをしていますがどうですか。

答弁 町長

侵入を防ぐ、個体数を減らす、捕獲後の処理の3点が大切です。県の対応は、市町村以上の対応には限界があると考えます。一方で捕獲の許可、狩猟期間、鳥獣保護法改正などの分野で県は発揮していただきたいです。

認定子ども園に関連して

―通園バスの運行計画はまだ示せないのですか―
―10月下旬〜11月上旬にかけて示したい―

質問 平成23年4月開園予定の認定子ども園の通園バ

スに対し「運行ルート、時刻、乗降場など情報を早く示し

て欲しい」との要望が出ている。早く情報を示すべきではありませんか。

答弁 教育長

情報提供が遅い、という事ではなく園児の通園負担の軽減を図るため、通園園児が確定した後、協議して効率よく運行するためであり、多くの保護者には理解していただいています。

質問 教育委員会の考え方で進行すれば、入園受け付けが8月23日〜9月30日まで、10月下旬〜11月上旬で面談、12月上旬に入園可否通知となっているが、最終的に通園バスの運行の情報提供はいつ頃になりますか。

答弁 教育長

10月末〜11月上旬にかけて示したいと考えています。





西山 徹 議員

下水処理事業について

今後の下水処理 推進計画について

質問 町内における生活環境を考えると、下水処理施設の積極的な推進は不可欠であり、町の長期総合計画にも謳われているところがあります。

農業集落排水事業地区以外についての現況と、今後の推進計画についてはどうなっていますか。

答弁 生活環境課長

昨年度の印南町汚水処理計画の見直で、農業集落地区3地区・公共下水道地区2地区・合併浄化槽面的整備地区33地区に変更しました。

平成21年度の現況は、合併浄化槽731基・単独浄化槽978基・汲み取り1515件であります。単独浄化槽・汲み取りを合わせた汚水処理については、合併浄化槽補助金制度の啓発、また、区及び地区単位で計画している合併浄化槽面的整備事業に取り組んでいきたいと考えています。

公共下水道事業の 取り組みについて

質問 印南・切目地区の密集地区は、公共下水道事業としての取り組みとなっておりますが、事業実施には課題も多く、今後の下水道対策として具体的な計画・立案は考えているのですか。

答弁 町長

下水道の方向性については、住民の皆さんの協力が不可欠であると思います。

公共下水を進めるとすれば、印南で約35億円、切目で15億円の事業費がかかります。その内町の負担は、起債も含めて12億5千万円かかります。

それも含めて事業を進めたとしてもランニングコストがかかります。そこで行政だけが積極的に進めるには難しい点もあります。

しかしながら、印南・切目地区の皆さんが90%以上の接続率を確保していただければ、行政として前向きに考えたいと思います。

町民総参加の環境づくり

質問 国土交通省は、平成17年から8月に「道路ふれあい月間」とし、和歌山県では、「紀州路クリーン大作戦」と名づけて、毎年8月末の土曜日を中心に県下一斉にクリーン作戦を展開しています。町民の環境意識を高める点からも、「町

民総参加のイベント」と位置づける考えはないのですか。

答弁 建設課長

町内においては、各地区や各種団体による奉仕作業を行っているため現状では、考えていません。



シルバーボランティアによる作業



井上 孝夫 議員

閉園施設の跡地利用に 都市との交流施設、診療所を

質問 認定子ども園が開園後もまづま保育園は「休園中」という位置づけなのですか。

答弁 教育課長

「認定子ども園」への取り組み移行中であり、平成23年度においては通園バスのターミナルなど、今後の活用方法等を検討するうえで休園のまま管理していく予定です。今後の児童数また保育サービスマン等から、このままの状況であれば、平成24年度以降で閉園する方向です。

質問 今年度で5園が閉園となり、その跡地の有効活用について、

閉園を単に取り壊すのではなく、地域の活性化や都市との交流促進施設、医療・福祉の観点から、宅老施設と複合した診療所を考へてはごうですか。



答弁 教育課長

印南幼稚園は学童保育の拠点施設として、切目川保育園は小学校の一部施設として、稲原幼稚園・あけぼの保育園・稲原西保育園については、地域と調整をはかり地域の活性化に繋がるような有効活用を図ってきたいと考えています。

答弁 住民福祉課長

宅老施設と複合した診療所は、開業を希望する事業所があれば、医師会・保健所等関係機関のご指導や、地域の住民の皆さんご意見を聞きながら適切に対応してまいります。

公用車のリース契約及び 公用車の有効活用について

質問 現在リース契約している車両は何台か。また、リース業者はどのような状況にあるのですか。

答弁 総務課長

公用車24台、その内買い取り6台、それ以外の18台はメンテナンスリース契約、契約業者は、ディーラー系の2社と、その他の2社との契約です。

質問 公用車の導入には、買い取り・リース契約、双方のメリット・デメリットによる選考か。リース契約は、割高感が根強いが、試算は行われているのですか。多くの自治体で電気自動車・ハイブリット車を、導入し公用車の有効な活用がされています。今後、省エネルギー・環境対策の観点から電気自動車を導入し、公用車の有効活用を考へてはどうですか。

答弁 総務課長

現代、リース契約の18台の内、8台が特定財源補助金等の有効活用により、合

理性は十分認められ、長期の維持経費を考慮・試算したうえで、現状においてはリース対応が最も合理的であると考えています。

再質問 リースの現契約内容で無駄な契約はないのか、次期契約時に精査して頂けますか。

再質問 リースの現契約内容で無駄な契約はないのか、次期契約時に精査して頂けますか。

再質問 リースの現契約内容で無駄な契約はないのか、次期契約時に精査して頂けますか。

答弁 総務課長

契約等については、かなり複雑な条件等であり、今後においても比較検討する必要があるかと考えます。やはり、最小の経費で最大の効果を上げたいという観点から、総合的に判断している状況であります。



村上 誠八 議員

鳥獣害「猿」対策について

質問 町内に生息する猿グループ数や頭数規模の把握が出来ているのですか。

答弁 産業課長

被害は印南原・真妻から切目にまで及んでいる。印南原区で100匹、切目川筋については3〜4グループで約300匹位と推測しております。

質問 隣接町村との情報交換は出来ているのですか。

答弁 町長

隣接日高川町とは情報交換をしているが、みなべ町とは出来ていません。

質問 日高川町では猿専門駆除及び追い込み隊を結成、成果を上げていると聞くと、当町では猿に対する生態調査や習性について研究や実験を実施しているのですか。

答弁 産業課長

平成7年、8年には約100匹の駆除をしているが年10匹前後の駆除で、平成12年度は21匹の駆除処理です。

今後の対策としては、協議会を通じて対策を進める。雇用創出事業を活用して実

施近隣町（日高川町）と協議しながら対応していく。また、駆除に対しては住民の協力とご理解が必要です。

質問 被害防止策について隣接市町村や県の協力を頂き、合同事業として取り組んで頂けますか。

答弁 産業課長

被害の拡大に対し町が主体性を持ち、県とも協議しながらケースバイケースで対応します。

防災組織について

質問 防災組織の目的は災害から住民の命を守り、物的被害の発生及び拡大を防止軽減する事を目的としている。

先ず人命の安全と確認を最優先する。命の安全を確認後救済、支援活動へと移行するが、そのためには、予備学習や災害マニュアルを住民に伝えるのも組織の役目と考えています。町の考えはどのようですか。

答弁 総務課長

住民自ら作成した防災規約及び計画をはかり、防災意識の啓発に努めるのが組

織であると考えております。

別荘地住人に対する対応について

質問 別荘地には、町民登録されている方・町民でない方・季節住民の方が住まわれています。災害発生時防災組織はどのよう対応すべきですか。

答弁 総務課長

別荘地の人については情報伝達されませんが、外の方については、伝達把握は出来ていません。しかし、屋外防災無線での緊急情報伝達可能な状況と考えると、防災危機管理上やはり地域住民

のコミュニティが重要と考えています。避難中の救助指示が生じた場合、自主防災組織では自己の責任に於いて判断し行動することが基本で、組織全体責任として受けとめて活動して頂きたいと思えます。



マリnpark（島田地内）

「委員会活動報告」



総務文教常任委員会

平成22年7月5日(月)
午後1時30分から会議室において「印南町における地上デジタル対策について」総務課から説明を受けました。



2011年7月24日の完全デジタル化に向け、デジタル中継局の設置や共聴施設の改修が計画的に取り組みられている。現在町内では、個別受信、共聴施設、ケーブルテレビ等多様な手段でテレビを視聴しているため、地域、共聴組合により異なる判断が求められています。個別受信されている地域は現行のUHFのアンテナで受信は可能であるが、電波状況により敷地外受信への対応が必要となる場合があります。



①個別受信が可能となる共聴組合(中継局電波受信)では、楠本組合が戸別受信へ切替済みで、名杭・切山・印南地区が切替予定となっております。

②NHK共聴組合(NHKが共聴施設の改修を行い、民放にかかる部分の費用負担が必要)は、松原丹生・上洞・横川・美里の4組合が既に改修が済みであり、羽六・皆瀬川・西神ノ川・川又の4組合が改修予定となっております。

③自主共聴によりテレビを見ている組合については、施設の改修が必要であるが、室川・勘田芝(古井)、

深山(古井)が既に改修が終っている。滝ノ口・奈良井・立石の組合については、改修予定です。



共聴組合を解散して、ケーブルテレビ移行(加入に係る初期費用10万5千円の半額助成)する予定の組合は、滝ノ口・柳畑・大白河・明神川・山口の5共聴組合です。

印南町全域のデジタル移行の方向は一応きまっていますが、今後においても、新たな難視世帯へ対応やデジ

タル移行への支援等スムーズな移行促進に努めていきます。



総務文教で地上デジタル対策を説明

厚生常任委員会

ごみ処理の問題について

「御坊広域清掃センター」視察

最初に、御坊広域行政事務組合事務局長の笠野氏より説明をうけました。

御坊広域行政事務組合は、日高川を中心とした1市5町(御坊市・美浜町・日高町・由良町・日高川町・印南町)より構成され、昭和45年に設立されました。

御坊広域清掃センター施設は、構成市町より収

集される可燃ごみ・不燃物ごみを処理するため、昭和55年に建設していましたが焼却能力の低下や修繕箇所増加など老朽化に伴い平成7年度から更新工事を行い、現施設が平成10年3月に完成しました。

処理方法は、コンピューター制御による流動床の焼却炉で日量98トンのごみを焼却できます。

平成12年度からの容器包装リサイクル法の完全実施に伴って、ペットボトルのリサイクルを目的としたストックヤード施設の整備を平成11年度に行い、平成17年度からは、廃プラスチック分別収集に伴って廃プラスチック処理施設を整備しました。

平成18年11月から廃プラスチック減容器を、平成19年度から焼却飛灰を大阪湾フェニックスへ搬出し、処理しています。





廃プラスチック

説明の後、ごみ焼却施設各部の見学説明を受けました、ごみ焼却施設は、中央制御室から集中管理、遠隔自動運転され、運転状態や各種の運転データはコンピューターにより一括管理されています。

●印南町のごみ処分量

印南町はここ2〜3年ごみは減少して来ています。平成21年度については、前年度より可燃物ごみは196.92トン減少しております。

印南町は人口割りに比べ、ごみが少なくなっています。

●運営費負担金・分担金

平成22年度予算の歳出分として、ごみの塵芥処理費1,053,431千円。

平成22年度分担金として、印南町は清掃センターへ136,802千円、クリーンセンターへ50,971千円。
分担率は毎年、利用率85%前々年度の受付を基本として、人口割も前々年度10%と平成21年度からなっています。



もえない複雑ごみ置場

●産業建設常任委員会

産業建設常任委員会において印南サービスエリアを視察しました。

運営母体は日高観光物産センター(株)であり、御坊市160・印南町160・みなべ町160・日高川町60・

由良町20・日高町20・美浜町20及びJAみなべいなみ110・JA紀州中央40・JAGグリーン日高10・各商工会40と合計800株を受け付けています。
この日高観光物産センターが西日本高速道路(株)からSAの土地を借り受けて、上りは「かどや」下りは「印南フーズ」に全部を委託して運営しています。



下りサービスエリア

年間の入場者数は平成18年では8万5千人であったが平成21年実績では18万人と大幅に増加しています。
総売上額も平成18年九千九百万円から平成21年に一億七千七百万円に増加しています。



休日の立寄り状況

日高観光物産センター(株)は委託先の基本営業料(二千四十万)+営業売上料(売上の12〜5%)の収入で運営しているが、西日本高速道路(株)の借地料・連結料・維持管理費の支払いや事務所費・建設物償却費・経費等などで、売上額の大幅な増の状態でも400万円程度の赤字にとどまっています。

今年営業開始した下りサービスエリアについては、上りの50%程度の売上しか見込めないため、今後の販売戦略を検討することが必要である。しかし、立ち寄り客数は午前中をピークに下りの方が勝っている。日高地方・印南町をPRする

にはうってつけの場所であり、PR拠点として大いに利用していけると思われます。



イベント(ミニトマト)

(委員長所感)

印南町の特産品や観光PRをするという計画でサービスエリアに着手したが、第3セクターとしての採算性やリスクの回避を重視したため、全面委託の体制となっている。サービスエリアにおいて、官・民が協力して印南町をPRし、多くの人が高速から降りて立ち寄ってもらえる戦略を見いだしていくことが必要です。

野球好きな子供たち！

稲原少年野球クラブ



知事杯で優勝しました。(部員募集は随時していますのでお気軽に申し込んで下さい。)

**チーム編成人数全員
で20名です**

- ・6年生 6名
- ・5年生 4名
- ・4年生 2名
- ・3年生 6名
- ・2年生 2名

練習日程

・火曜日・日曜日
☆月曜日は休みです。

チームカラー

野球好きな子供たちの集団です。本年度、6年生の大会は終了しましたが、キャプテンの塩路君はチームのまとめ役としてカンバリました。声が大きく噂のキャプテンです。

最近のチームの成績

本年度の成績は印南町新人戦、JA杯と知事杯で優勝しました。

これからの目標

野球を通じて、野球だけでなく心の教育を目指しています。強い心は勝利へも通じていると信じています。

監督からの一言

去年、ユニフォームを新に新調しました。今までのチームカラーの赤を基調に、選手たちの気持ちも勝利に向かって一新しました。

B級(5年生以下)もC級(4年生以下)も出来ればどんどん参加してゆきたいと思っています。

また、10月末には、新人戦が始まります。どうか皆さまの応援をよろしく願っています。



あとがき

秋の深まりを日々感じるなか、今後も議会の活動状況を皆さまにより多く知っていただくために、読みやすい「議会だより」づくりに努力していきたいと考えておりますので、遠慮なく皆様のご意見ご要望をお寄せくださいませうようよろしくお願いいたします。

次回は12月定例会。皆さんが行政へ参加する手法の一つとして議会の傍聴があります。より多くの方が積極的に、議会の傍聴にご参加いただき町議会の活性化に一助いただきますようよろしく願います。

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 榎本 一平 |
| 副委員長 | 玉置 克彦 |
| 委員 | 日裏 勝己 |
| | 杉谷 考祥 |
| | 岡本 利三 |
| | 藤薮 広 |

